

図書館報

光 丘

No. 151

スマホ世代と赤ちゃんへの読み聞かせ

(一社) 子どもの読書サポートアシード代表理事

絵本専門士 加藤 美穂子

行政や民間とタイアップして子どもの本の公益事業を行っている。平たく言うと、絵本で世の中をハッピーにするのが仕事だ。最も力を入れているのが、家庭での赤ちゃんへの読み聞かせの普及である。

二〇〇〇年の子ども読書年から、県内にブックスタートを広め、現在は県内の子育て支援センターで啓蒙活動を続けている。赤ちゃん絵本について、ガイドブックを出版したり、調査したりする中、読み聞かせも時代と共に、確実に変化を遂げていると感じる。

若い親たちは、何の躊躇いもなく、赤ちゃんの傍らでスマホを使い、子育てにも活用する。

「iパッドで読み聞かせして何か不都合があるんでしょうか？」という質問も、普通に来るようになった。泣いたらスマホ、退屈していたらスマホ、家事の最中もスマホ…

確かに便利で楽、一概にスマホが悪いとは言わない。けれども、『コミュニケーション

遮断ツール』と言われるスマホを、安易に赤ちゃんに与えることで、取り返しのつかない落とし穴に落ちていないだろうか？

温もりと言葉は、コミュニケーションの根幹をなすもの。赤ちゃんが泣いたら、まず抱っこして声掛けをすべきだ。何かあった時に、全てスマホが対応してくれるなら、親の存在はどうなってしまうのか？

また、乳児にとって、ビジュアルの基本が、スマホの刺激の強いチラチラする画面になると、静止画面(絵本の絵)を集中して見なくなってしまう。それはとりもなおさず、観察力が育たないということだ。

更に、人の言葉を注意して聞くというコミュニケーション能力も育っていかない。スマホの便利で楽は、見逃せない落とし穴だ。

二か月前、仕事で上京した折のこと。電車の雰囲気、何か今までと変わった気がすると思ひ、よくよく見ると、読書

している人が三割近くいた。自分の頭で思索する人が増えたという証だ。去年あたりは、スマホの画面を見ている人が車両丸ごとだった。魂を吸い取られたような表情ばかり見えていたら、人酔いして、非常に気分が悪くなったのを覚えている。

何につけても、山形は中央に五年は遅れる傾向にあると聞く。あと五年・・・折しも駅前に新図書館がオープンする時期だ。スマホの呪いが解ける時期と、文化の基地となる図書館がオープンする時期が重なる。これは、酒田が一気に文化都市になるチャンスの到来ではないか。未来の図書館利用者拡大のためにも、読み聞かせは早期に開始した方がいい。

「早いことに意味があるのか？理解できるのか？」とおおよその人が抱く疑問に、脳科学者が既に明確な答えを出している。それによると、赤ちゃんは生まれた時から、五感であらゆる刺激を受け止めつつ、言葉を理解しようとする能力が働いているという。

これを裏付けるエピソードがある。二十年近く読み聞かせ活動をしている友人に、去年初孫が誕生した。張り切って生後十日目から読み聞かせ

を開始したところ、赤ちゃんはたった一冊の本にだけ目を止めたそう。そして、その本を繰り返し読み続けた六ヶ月の今では、「絵本読むよ」と声掛けすると、手足をばたつかせキャッキョと大喜びし、最後まで集中して絵本を楽しむという。

子育て支援センターで多くの赤ちゃんに接し気付くことがある。早くから読み聞かせの経験を持つ赤ちゃんは、生後六ヶ月位になると、目の前に絵本が来ると、凝視し耳が立つ。すべてを吸収しようとするその表情は、とても理知的で感動すら覚える。読み聞かせ経験の乏しい赤ちゃんとは、人間と動物くらいの差ができていと言っている。早く始めることの結果は一目瞭然なのである。



案外目にする事の無い

白鳥の生態(七)

日本白鳥の会理事

角 田

分わかつ

水浴び行動のいろいろ

鳥類は、その生存に欠くことの出来ない翼や羽毛の健康管理のために、生息環境に応じて水浴びや砂浴びさらには蟻浴そして羽繕い等を行うものがあります。

飛び込み水浴び

この水浴び法は水を体全体にかぶるといふもので、毎朝採食に飛び出す前にほとんど白鳥が行っているごく日常的な水浴びです。



写真1 飛び込み水浴び

白鳥が水を浴びる行動は、大きく二つに分けられます。水をかぶって体の表面を簡単に洗う程度の水浴びと翼を強く叩きつけて羽毛の一本一本まで丁寧に洗い、羽毛についているダニや寄生虫等洗い落とすような水浴びです。

飛び込み水浴びは、くちばしの先端から水中に飛び込み、水面浮上時に首の後方で水を背中全体にかけます。そのかけた水で体の表面に付いている異物を洗い落とす水浴びと考えれば良いです。

しょう。(写真1)

一晩野外で過ごした後の白鳥の体をよく観察すると羽毛の表面には霜や氷片などが結構へばり付いています。これら水をかぶることによって取り除き飛翔に障害が出ないようにするための水浴びです。そのために目覚めた後に群れ全体で一緒に行うことも見られます。ただ争いをした後などの気分転換時に行うこともあるようです。

片翼打水浴びと両翼打水浴び

この二つの水浴び方法は、名前にあるように『翼を水に打ちつけて』翼や体の羽毛を一枚一枚ていねいに洗う水浴び方法です。



写真2 片翼打水浴び

片翼打水浴びは片方の翼だ

けを水面に強く打ちつけて激しく水を体に振りかけるものです。(写真2)

興味あることにこの水浴びの時には翼を水面に打ちつけながらくちばしを大きく開いて行うこともあります。このくちばしを開くのは水浴びの後に行う羽繕いに使用する油脂を分泌する行動だと考えています。

両翼打水浴びでは、両方の翼を同時に水面に激しく打ちつけながら水面を走り回ります。そしてその途中で全体を水中に潜水させることも行います。

この二つの水浴びの後は岸边に寄って長い時間をかけて羽繕いをします。

側転水浴びと前転水浴び

この二つの水浴びは呼称のように側転と前転をしながら水浴びをするものです。水面で側転と前転をしますから当然体がひっくり返り背面や翼も水中にひっくり返って入ります。このことから恐らく全体を洗っている水浴びだと考えられます。

側転水浴びは水面で首を前方に伸ばしながら体を横に倒



写真3 前転水浴び

し、伸ばした首を背中の方に引き寄せながら更に側転させて水面上にひっくり返るので、そして両脚を空中でバタバタさせて水浴びは終了です。足をバタバタさせている時に水中で翼を動かしているものだと考えています。

前転水浴びは、水面に普通に浮かんでいる状態から胸の部分から水中に深く差し入れそのまま完全に水面上で前転します。(写真3)

何故回転までして水浴びをするのか翼が水中でどのように動かされているのか等は残念ながらまだ説明できていません。恐らく翼や背中部分の完全に水没させてダニや寄生虫などを洗い落とすというのではないかと推測しています。

ヒマワリ雑感

東北公益文科大学教授 遠山茂樹

夏を代表する花といえは、

ヒマワリであろう。その堂々

としたさまは北原白秋の名句

「向日葵の ゆさりとせぬ

重たさよ」によっても知ら

れている。学名はヘリアン

トゥス・アンヌウス(Heilan

thus annuus)。ヘリアントウ

スはギリシア語のヘリオス

(太陽)とアントス(花)に由

来する合成語で、それに「一年

草」を意味する種小名アン

ヌウスが付いている。した

がって、ヒマワリの学名は、

「一年草の太陽花」となる。英

名サンフラワーもこれに準じ

たものだ。和名は向日葵で、こ

れは漢名から来ている。

ヒマワリはキク科なのに、

和名に葵の字が当てられている

るのはなぜだろうか。一説に

よると、葵もヒマワリも日に

向いて咲くためであるという。

そうではなくて、ヒマワリの

葉(花ではない)がタチアオイ

に似て大きいからだという説

もある。いずれにせよ、ヒマワ

リは太陽に顔を向けるものの、

その動きにあわせて廻るわけ

ではない。あるイギリス人の

学者が実際にヒマワリの頸の

ところを動かしてみたが、頑

丈で固く、そう簡単には動か

ないことがわかったという。

生真面目にこのようなことを

やってみるところが、いかに

もイギリス人の学者らしい。

ヒマワリの原産地は北ア

メリカで、アメリカ・イン

ディアンはアリゾナや

ニューメキシコで紀元前三

千年頃からヒマワリを栽培

していたと考えられている。

彼らは種子を挽いて粉末状

にし、菓子やパンをつくった。

また、種子から搾油もおこ

なった。その昔、インカ帝国

ではヒマワリは太陽の象徴

として崇められ、現在ではペ

ルーの国花にもなっている。

ヒマワリは十六世紀、スぺ

イン人の征服者たちの手に

よってヨーロッパに持ち込ま

れた。したがって、それ以前の

ヨーロッパにはヒマワリは存

在するはずがないのだが、

古代ヨーロッパでも「ヒマワ

リ」は知られていた。紀元一

世紀の博物学者プリニウスは

『博物誌』のなかで、ヘリオト

ロピウムと呼ばれる植物はつ

ねに太陽のほうを向いており、

太陽が移動すればいっしょに

廻る、といった趣旨のことを

述べている。ここでプリニウ

スがヘリオトロピウムと呼ん

でいる植物は、ムラサキ科の

ヘリオトロップ(和名キダチ

ルリソウ)ではないか、と推測

されている。ヘリオトロップ

は青みがかった紫色の小花を

つけ、バナラのような甘い香

りを放つところから、今でも

香水やポプリにも使われてい

る。

ヘリオトロップはギリシア

語のヘリオス(太陽)とトロ

ペー(向きを変える)から成り、

俗に太陽の動きに合わせて、

花も向きを変えると信じられ

ていたところから、その名が

ついた。しかし、実際のヘリオ

トロップは太陽に顔を向けて

咲くわけではないし、太陽の

後を追って廻るわけでもない。

したがって、ヘリオトロップ

という名で知られている植物

は、古代ギリシアの時代から

このかた、誤って「太陽につ

いて廻る花」と呼ばれてきた

ことになる。さらに厄介なの

は、ヘリオトロピウムといっ

ても、それは必ずしも今日わ

れわれが知っているヘリオト

ロップのみを指したわけでは

ないということだ。

ギリシア神話やオウィディ

ウスの『変身物語』で水の妖精

クリュティアが姿を変えた花

は、ヘリオトロップではなく

マリーゴールド(金盞花)であ

ろうといわれている。マリー

ゴールドには中南米原産のマ

ンジュギク属とヨーロッパ自

生のキンセンカ属のものがあ

るが、確かにマ

リーゴールドは

太陽に従順だっ

た。ピューリタン

革命で断頭台の

露と消えたイン

グランド王

チャールズ一世

(在位一六二五

一四九)はワイト島にあるカ

リスブルック城に幽閉中、こ

う詠んでいる。「マリーゴール

ドは太陽に、わが臣民よりも

従順なり」。

ところで、ヒマワリと聞け

ば、誰しもゴッホを思い浮か

べるだろう。日本鼻貞で知ら

れるゴッホは、南仏プロヴァ

ンス地方のアルルでヒマワリ

を描いたが、彼はアルルに憧

れの国である日本を重ね合わ

せていた。アルルは古代ロー

マ帝国ではプロヴァンス地方

の中心都市として繁栄を極め、

中世にはサンチャゴ・デ・コ

ンポステラへの大巡礼の起点

のひとつとなっていた。巡礼

者たちは、じりじりと照りつ

けるプロヴァンスの陽光の下、

あたり一面に咲き誇るヒマワ

リを眺めながら、いったい何

を思ったであろうか。



ゴッホの「ひまわり」

吉野弘さんの詩をめぐる対話 第7回

「漢字喜遊曲」の詩人の熱意と症状

酒田・詩の朗読会 主宰 阿蘇孝子
月刊SPOON元編集長 佐藤晶子

佐藤 前回も少しふれましたが、吉野さんは「漢字大好き人間」を自称していらして、漢字を見つめる中から発見した作品を、

「漢字喜遊曲」シリーズとして多数発表なさっています。その傾向は、晩年に至るまで、いや増すばかりだったようですね。

阿蘇 最初に「漢字喜遊曲」が登場するのは第五詩集『北入曾』です。それから第七詩集『叙景』にも同じタイトルの内容が異なる作品が登場する。その後、詩集を出すたび作品が増えていく。

第十一詩集『夢焼け』では「漢字喜遊病・症例報告」と、どんなのめり込んで、病気になるってしまった(笑)。日本語の成り立ちに関心が深かった吉野さんが、漢字に夢中になるのは自明の理、そんなふうには思えません。

「長女の奈々子さんから伺った話ですが、これら漢字の作品には、とりわけ嬉々として取り組んでいらしたそうです。出来上がった作品をご家族に持ってきては、「どうだい、わかるか



© SPOON 1991

吉野弘

(よしの・ひろし 1926~2014)

酒田市出身。酒田市場成第二尋常小学校、酒田市立石油工業学校を卒業後、労働組合病に執行部で活動。肺結核闘病中に詩作を開始。1952年、「I was born」で詩壇デビュー。1957年、酒田の「新」詩集出版。1972年、第4詩集『感傷旅行』で読売文学賞を受賞。1994年、青土社より『吉野弘全詩集』を刊行。

う意味を持っている。この国の風は、虫と共に暮らす風流をも運び続けて今に至っているのだが、ロセッティさん、あなたの国の「風」WINDは、「勝利」WINを運ぶのですね、と。

阿蘇 それから、「過(あま)す」と「過(あま)ち」が同じ漢字であるという「過」。手紙の書き出しに、おいそれと「いかがお過(あま)ごしですか」と書けなくなりました。

佐藤 そうですね。青が争う(あ)という、実に美しいイメージが心に残る作品です。

阿蘇 「静」。黒い犬が黙(もく)っています。文字通りということもある核には原子力になう亥(がい)がある。へいつまでおとなしくして

吉野さんの漢字喜遊曲には、

「風の中の風」のように、漢字の中に別の漢字を見つけるもの、「静」のように、漢字の部首とつくりの組み合わせから新たなイメージを発見するもの、「過」のように、同じ漢字なのに、読みによって意味が異なることを指摘するもの、「往」と「住」のように、見た目がよく似た漢字を呼応させたものなど、さまざまな手法が用いられています。

見た目が似た漢字と言えば、「水」と「氷」があります。吉野さんは当然、この二つの漢字をモノにしようと考えたはず

です。ところが、「氷よ、氷よ」という作品を読むと、「氷肌玉骨」の美女や「荀子」「白隠禅師坐禅和讃」まで登場させて格闘した末に、とうとう長篇詩になってしまったように思えます。

阿蘇 吉野さんが若い頃、一字手書きで綴った五冊の合本、その一冊『山嶺』の「愛を人々の上に」という作品の中に、こんな詩行があります。善悪の

いづれか一方にその人を押し込めないことす。へ凡る矛盾の対立がこの宇宙の真相なのです。対立する両極の心の中に、広く広く抱いて居ませう。

漢字喜遊曲を考える時、いつもこの詩が思い浮かぶのです。「幸の中の辛」「裏の中に表」

「快の中の快」など、相反する要素を一字に内包する漢字。そこには宇宙があり、世界の摂理がある。世界は深いのです。矛盾を愛する心になりませう。

詩人をめざして、最初に身の内唱えた志は、生涯、吉野さんの作品の根底に流れ続けている。漢字喜遊曲は、改めてそんなことを心に刻ませる作品群です。

佐藤 吉野さんには、韓国語やハングルにこだわった作品があります。韓国語で目のことをヌンという。雪のことをヌンという。天上の目よ、地上の何を見るために、まぶしげに降ってくるのか」と語る「韓国語で」などは、言葉の根幹にこだわり、その秘密を探りあてようとする点で、漢字喜遊曲の延長線上にあるように感じます。

阿蘇 「雪国抒情」の「雪国のひとの目をのぞいて、ちらんありありと天の目が飛びかっている」というところは、北の国で暮らす人々への暖かいまなざしであふれています。同時に、韓国語から「雪」を「天上の目」と特定する発想の見事さ。「冬

の海」「雪の日に」「スキンスッ

プ」とともに、故郷の冬がつねに吉野さんの念頭にあったのだなあと感慨深くなる作品です。

明治・大正時代の料理本

古典籍調査員 阿部 淳子

家族に食事を作っている人にとつて、毎日の献立を考えるのはなかなか大変なことです。「今日は何を食べようかな」と料理本を見たり、ネットで検索することもあって、ネットではないでしょうか。

『西洋料理法附 長崎料理法』

(日用百科全書第十三編
博文館 明治二十九年)

幕末の開国により西洋の文化が日本に入ってくると、西洋の料理も少しずつ広がり、料理本も出版されるようになりました。この本には西洋料理を中心に、長崎料理(卓袱料理)等の料理方法が載っています。



『西洋料理法附長崎料理法』より

り方が書いてあります。内容は本格的で、当時の人がバターやパセリをどうやって手に入れたのか、値段はどのくらいかと心配になるくらいです。けれども西洋への憧れを抱きながら「おいしそうだなあ」とページをめくっていた人がたくさんいたことでしょう。

ところで、ライスカレー・ロッケ・カツレツ(とんかつ)は「明治の三大洋食」と言われるほど流行し、現在でも人気のメニューです。この本でライスカレーは肉ならどんな肉でも使用してよいとし

ながらも、羊肉を使っているのがちょっと意外でした。別の料理本『和洋料理』(家庭全書第六編 尚文堂 明治三十三年)を見ると、やはり肉はどの種類でもよいとし、肉以外にも海老、カニ、玉子、牡蠣を用いてカレーを作っています。

『家庭応用惣菜 五百種』

(赤堀峯吉他著 東京新橋堂書店 明治三十九年)

著者の赤堀峯吉は、明治十五年に日本で最初の料理学校「赤堀割烹教場」を開設した料理研究家で、多数の料理本を著しました。

序文に「普通家庭料理に適當なる惣菜料理書のなきに より」この本を著したとあるように、家庭で手軽にできる料理が五百種以上載っています。

料理は素材別になっており、一番多いのが魚介類を使った料理で二百八十一種、次は野菜で二百十四種です。しかしそれに比べると肉類は鶏肉十一、豚肉四、牛肉一、とずいぶん少なく、当時は魚・野菜中心の食生活だった

ことがうかがえます。調理方法も煮物・焼物・和え物が中心です。

いわしの項を見ると、塩焼、付焼き、洗い、おろし和え、草和え、味噌煮、あんかけ、塩蒸、酢蒸し、てんぷら、つくね揚げ等十五種もあります。どれもおいしそうですが、私は塩焼の項に「鰯の調理法中この塩焼きを以て最も美味とす」と書いてあるのを読んで、そうだよなあ、と頷いてしまいました。みなさんはどうですか？

『三百六十五日 毎日のお惣菜』

(櫻井ちか子著 忠誠堂 大正十四年)

一月から十二月まで日ごとに朝・昼・夕の三食の献立表を掲載し、そのあとで主な料理の作り方を説明しています。たとえば八月十八日を見るときこんな献立です。

- 朝 わかめの味噌汁
- 昼 牛肉赤茄子煮こみ
- 夕 卵の花油炒り
- 芝海老と小松菜の清汁

昼の料理では赤茄子(トマ



今回紹介した料理本

ト)と牛肉を煮込んでいますが、この本全体の献立を見るとやはり肉類の献立は少なく、魚・野菜料理が多くなっています。豆腐・油揚げもよく使用しています。

洋食ではライスカレー、ロッケ、カツレツの他にもチキンライス、シチュウ、サラダが献立に登場しており、前出の『家庭応用惣菜五百種』に比べると洋食が家庭に広がってきているのがわかります。

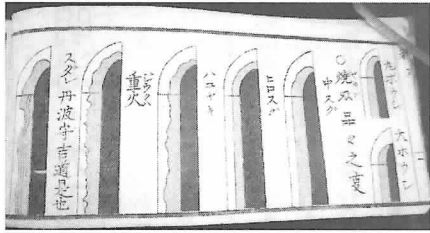
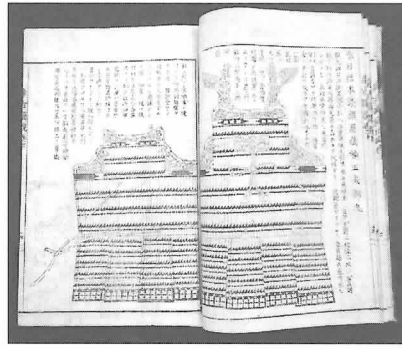
光丘文庫にはこの他にもお菓子の本、漬物の本などの料理本がありますが、当時も今もおいしいものを食べたい、食べさせてあげたいという気持ちは変わらないようです。



光丘文庫展示

「書物にみる甲冑と刀剣」

江戸時代、武士が実際に甲冑や刀剣の研究のため使っていた書物を展示しています。展示期間 五月十五日～九月二十二日



光丘文庫ギャラリートーク 「本間順治日々抄」

光丘文庫企画展示「書物にみる甲冑と刀剣」に合わせて、初代本間美術館長で、日本刀研究の第一人者であった本間順治氏の人柄やエピソードなどをお伺いします。

講師 本間美術館長 田中章夫氏

日時 九月十六日(土) 午後一時半～三時

会場 総合文化センター 四一〇、四一一

費用 無料

番長来たる！

よしながこうたく

読み聞かせ&ライブペイント

「給食番長」などで大人気の絵本作家よしながこうたく氏による絵本読み聞かせとライブペイントを開催します。子どもから大人まで楽しめる内容です。

講師 絵本作家 よしながこうたく氏

日時 九月十六日(土) 午前十時～正午

会場 出羽遊心館 (午前九時半開場)

費用 無料

定員 先着百人

申込み 八月二十一日(月) から中央図書館へ

対象 五歳以上(小学生は保護者同伴必須)

お問合せ 中央図書館

電話 二四一二九九六

図書館企画展示のお知らせ

○読書感想文を書こう

「第六十三回青少年読書感想文全国コンクール」の課題図書、「第五十回YBC読書感想文」指定図書、「第五十回夏休みの本(緑陰図書)」を展示しています。

何を読んで書いたらいいか迷っている方は、是非こちらの本をご覧になってみてください。



○夏休みの自由研究・工作コーナー

子ども向けの自由研究や工作に関する本を展示しています。植物や昆虫に関する本、身近な材料で作れる工作の本など、たくさん用意しました。

ど、たくさん用意しました。

祝！日本遺産認定「北前船」

関連図書ミニ展示

本市を代表自治体として申請した「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間」北前船寄港地・船主集落」が日本遺産の認定を受けました。

「日本遺産」は、地域活性化を目的に平成二十七年から文化庁が始めた、日本の文化・伝統を語るストーリーを認定する制度です。

図書館の企画展示では、日本遺産認定を記念して、北前船関連図書三十六冊を展示しています。



中央図書館では年間を通じて雑誌スポンサーを募集しています

「雑誌スポンサー」とは図書

館の閲覧コーナーの雑誌の費用を負担していただき、その雑誌の最新号カバーにスポンサーの広告を掲載するものです。カバーの表面にスポンサー名を、裏面には名前、裏カバーに広告を掲示します。

募集時期 随時
対象 企業、事業主、商店、団体(病院、協会、組合等)(個人は対象外、審査あり)

広告を掲示する雑誌 図書館が購入する雑誌。それ以外の雑誌を希望する場合は応談
お問合せ 中央図書館
電話 二四一二九九六
ファックス 二四一二九八〇
メール info-lib@city.sakata.lg.jp

中町分館の臨時休館について

光丘文庫に残る新聞・雑誌移転のため中町分館(中町庁舎五階)は、九月二十五日～十二月二十八日まで休館いたします。

昨年度より二か年計画で移転しております光丘文庫の資料については、今回の移転で完了し、来年一月から中町分館において、資料の展示、閲覧を再開する予定です。

ご利用の皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

デザイン 佐藤 十弥

発行 酒田市中町一丁目四番一〇号

酒田市中町二番五九号

電話(24)二九九六番 印刷 明徴出版(株)